

Multilingual Electronic Newsletter

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り



Kagoshima Southern Wind Tidings

VOL. 171

▽トピックス

[1 国際交流員のコラム](#)

南大隅・本土最南端の世界 後編

－ 鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン(シンガポール出身)

[2 かごしまの国際交流 A-Z](#)

サンマリノ特命全権大使が訪問されました

[3 県費留学生のコラム](#)

夢のような旅, 奄美大島の先祖の地へ

－ 日系ブラジル人 川崎 ダニエラ ユカさん(鹿児島大学)

[4 観光かごしま旬の情報](#)

出水市「箱崎八幡神社」～巨大なツルのオブジェがお出迎え～

●南大隅・本土最南端の世界 後編●

ー 鹿児島県国際交流員 ウォン・イミン（シンガポール出身）

（本記事は、第 169 号の続きです。）

**佐多岬灯台**

亜熱帯に覆われて日本本土最南端の岬にある佐多岬展望台で、眼下に一基の灯台が輝いています。これは、日本の「灯台の父」と呼ばれる外国人リチャード・ヘンリー・ブラントンが明治4年に築いた佐多岬灯台です。これは明治時代、日本の沿岸をより安全にするための計画の一部でした。



佐多岬灯台

ブラントン氏が築いた 26 基の灯台のうち、佐多岬灯台は唯一の沖合の灯台です。その灯台は佐多岬からさらに 50 メートル先に浮かぶ大輪島にあります。初代の灯台は昭和 20 年に空襲により破壊され、現在の灯台は昭和 25 年に再建された 2 代目です。「日本の灯台 50 選」にも選定されています。



本土最南端の佐多岬

本土最南端の岬にある一基の灯台… その孤独な白い姿を見ながら、灯台守さんはどんな気持ちでここにいたのでしょうか！

また、不思議な偶然ですが、数年前に日本本土最北端の北海道の宗谷岬へ行く機会がありました。今回、最南端の佐多岬に経った私には、その二か所の同じ点と異なる点がはっきり感じられました。

亜熱帯の暑さに包まれて緑豊かな熱帯林が溢れる最南端、と、亜寒帯の冷たい風が吹き、広大な土地やなだらかな丘陵が広がる最北端。異なる点がありますが、両方とも日本の中心からとても離れた場所で、独特な荒涼感が漂っていると思います。



鹿児島島の南大隅で本土最南端  
にある記念碑



(以前の旅行) 北海道の稚内で  
本土最北端にある記念碑



展望台の反対側は、晴れていれば指宿  
の開闢岳の姿が見えるようです。

### 佐多岬灯台守の官舎跡地

素敵な絶景を十分に楽しんだあとはまた熱帯林に入り、次の場所に向かいました。豊かな緑の中にある石段を通して、佐多岬灯台守の官舎跡地に着きました。かつて、灯台を管理していた役人が住んだ跡です。

植物が生い茂り、独特な南国の雰囲気を持っている歴史的な建物です。現在では外壁の一部しか残っていませんが、文化的・歴史的に重要な存在です。



佐多岬灯台守の官舎跡地への石段

きれいな海と緑豊かな環境に包まれた場所ですが、人里から遠く離れたこの場所は灯台と同じような孤独感を感じました。灯台守が家族と一緒にここで生活していた時、どんな思いだったのか想像が膨らみます！

そしてそろそろ時間になりました。入口に戻り、専務と担当の方にお礼を言いお別れしました。



佐多岬灯台守の官舎跡地の遺跡



佐多岬で撮影した最後の一枚



全国でも稀に見る並列鳥居がある

諏訪神社

## 雄川の滝

最後に行く場所は自然豊かな環境にある人気スポット、雄川上流にある雄川の滝です。雄川渓谷の遊歩道を歩くと、清流の音や鳥のさえずりなど、心身ともに癒される感じがします。

雄川の滝に着くと、壮大な景色が目に入りました。その日の滝は、通常の穏やかな滝ではなく、大量の水が流れる轟音の滝でした。その上、水と光の完璧な組み合わせのおかげで、素敵な虹も見ることができました！



滝への遊歩道



雄川の滝



滝へ行く途中にある天然クーラースポット



## 終わりに

あっという間に、帰る時間となりました。今回の旅では、とても貴重な経験をさせていただきました。

終わりに、同行いただいた南大隅町や南大隅町観光協会の方々、国際交流協会の同僚たちに心よりお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました！



雲をかぶった開闢岳



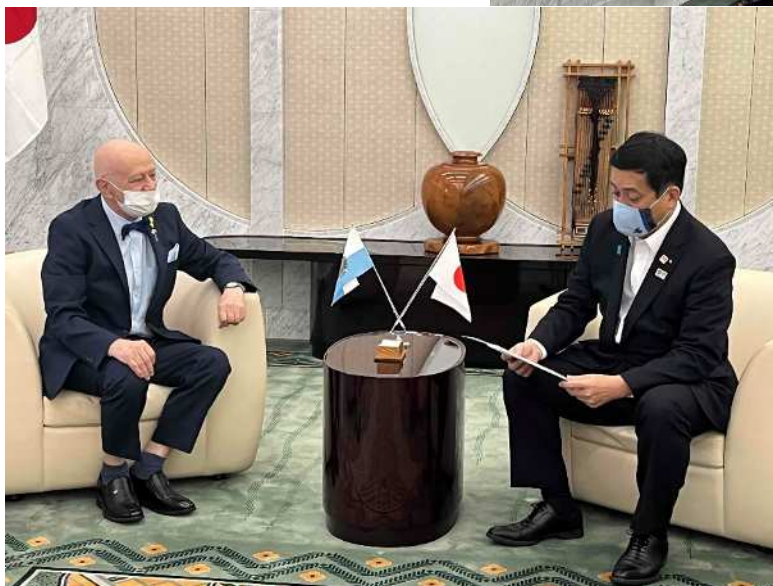
美しい夕日

●サンマリノ特命全権大使が訪問されました●

8月9日、サンマリノ共和国大使館のマンリオ・カデロ特命全権大使が県庁を表敬訪問されました。

マンリオ大使からは、8月8日に鹿屋市でサンマリノ共和国大使館主催により、鹿児島宮崎の豊かな食材や文化、歴史背景について語り合う「世界×ローカals ガストロノミーのタベ」を開催したことや、吾平山上陵で鹿児島島の自然の素晴らしさを改めて感じたことをお話いただきました。

塩田知事からは、かごしま国際友好大使として積極的に活動いただいていることに感謝を申し上げます。今後も鹿児島とサンマリノ共和国との交流の推進に努めてまいります。



左：マンリオ大使/右：塩田知事

●夢のような旅、奄美大島の先祖の地へ●

8月6日、私は鹿児島県国際交流協会の吉村事務局長と一緒に奄美大島に行きました。奄美空港に着いてすぐ、まずは近くのレストランで地元名物の「鶏飯」を食べました。おいしかったです！

それから宇検までの道すがら、海岸の岩の窪みがハート型に見えるという「ハートロック」に行きましたが、残念ながら満潮ですべて海面の下に。気を取り直して、最近できたばかりの奄美大島世界遺産センターへ。奄美の特徴的な自然や工夫された動植物の展示を見学して、午後4時頃、ついに宇検村に到着しました！

早速、私の家族の友人である高田直俊さん小百合さんご夫婦がホテルで出迎えてくれて、いろいろ話ができました。小百合さんはブラジル生まれでポルトガル語を話せます。今回の訪問では、最初から最後まで、高田さんご夫婦にとってもお世話になりました。また、元山公知宇検村長が自らホテルに訪ねてくださり、今回の奄美訪問の計画や私の家族のこと、そして私の大学での勉強内容のことなどで話が盛り上がりました。宇検村の特産品をいただいたり、本当にやさしい村長さんです。

さらに、地元の新聞2社の記者の方ともお会いし、いろいろと取材を受けました。記者の方々は翌日も熱心な取材をされ、私の訪問を大きく紙面に取り上げていただきました。

この日の夜は、宇検村の方々の心温まる歓迎会に招かれました。迎えてくださったのは、宇検村役場から企画観光課長の辰島月美さん、それから2018年にブラジルを訪問された村野巳代治さん、喜島孝行さん、渡博文さん、内田健治さん。また、親戚の文岡学さん、白井友也さん、高田直俊さん小百合さんご夫婦です。ほかにも宇検村役場の職員の方々もいろいろ準備やお世話をしていただき、皆さんからの大歓迎に私は言葉にできない感謝の思いに包まれました。彼らからは奄美の工芸作者が作ったプレスレットとイヤリングをいただきました。繊細で素敵なもので、とても気に入りました。

たくさんのおいしい料理を楽しみながら、私の先祖のことや以前喜島さんたちがブラジルを訪問されたことなど皆さんと楽しくお話していると、村野さんと小百合さんが三味線を持ち出して、地元の「島唄」を始めました。初めてその唄声に触れましたが、夜が更けるとともに輝きを増す星空に合わせて、唄に込められた情感がじんわりと私の心に沁みてきました。

一夜明けて、翌日は役場の内田さんや高田さんご夫婦と一緒に村内を巡りました。まずご先祖様のお墓参り。お墓は共同の納骨堂になっていて、そこにお花とお線香をあげました。その後、昔、ブラジルへ移住した宇検村出身者からの義援金をもとに私の曾祖父たちが架けたという「伯國橋（ブラジル）橋」を渡って、祖母のいとこの津田四男さんの家を訪問しました。

それからは、宇検村内の景観ポイントである峰田山展望台、船越海岸、湯湾岳、焼内湾と回りましたが、どれもこれも見事な絶景で、奄美がユネスコの世界自然遺産に登録されたのもなるほどと納得がきました。

午後、小百合さんが私たちのためにブラジルの家庭料理を用意してくれました。ピカーニャ（牛焼き肉）、コシーニャ（鶏肉コロッケ）、パステル（挽肉包みパイ）、たくさんの果物、そして何ととっても、フェイジョアード（黒豆と牛肉の煮込み）とご飯。

本当に懐かしいブラジルの味でした。一気に食べました、おいしかった！

ここまでで名残を惜しみつつ宇検の地を離れて、吉村さんと一緒に名瀬に向かいました。ホテルにチェックインしていると、笠利から津田久男さんとそのご家族が訪ねてきてくれ、1時間ほどお話をしました。その後、文岡正樹叔父（ブラジル鹿児島県人会長）から紹介されていた永田陽祐さんが経営するホステルに出かけました。永田さんは一時期ブラジルで仕事をしていたそうで、正樹叔父ともその縁で知り合い、ブラジル語（ポルトガル語）、英語ともに堪能でした。短い時間のおしゃべりでしたが、ホステル内を案内してくれてとても親切にしてもらいました。

明けて三日目は奄美訪問最後の日です。お待ちかねの大島紬村に行きました。奄美に行く前からとても行きたいと思っていた場所の一つで、期待どおりに素晴らしいところでした。紬の泥染めや織り方など一つ一つの工程の技術が本当に独特で印象的です。大満足の体験でした。

今回の旅を振り返ってみると、短い期間にとっても多くの方々にお会いし、そのすべての人たちがフレンドリーで温かく親切でした。こんなに皆さんから親切にいただけるなんて思ってもおりませんでした。いつかきっと、また奄美を訪問し、すべての皆さんにまたお会いして、ぜひこのご恩をお返しできる日が来ることを願っております。皆さん、本当にありがとうございました。



宇検村の皆さんは温かく迎えてくれました！



●出水市「箱崎八幡神社」～巨大なツルのオブジェがお出迎え～●

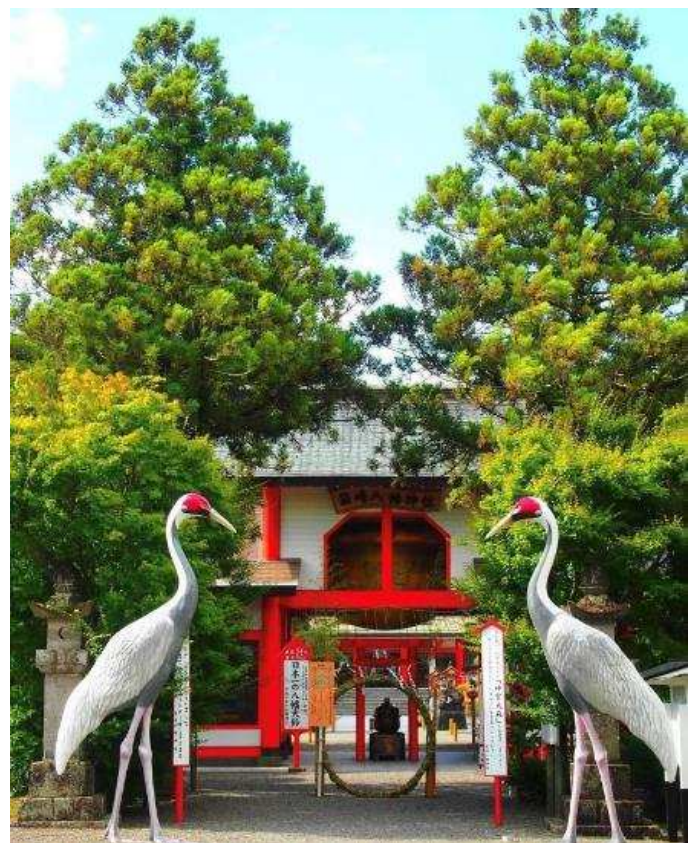
今日の写真は、出水市にある「箱崎八幡神社」です！

ツルの飛来地として有名な出水市にあるこちらの神社。入り口では、巨大なツルのオブジェがお出迎え！

境内には、日本一大きい鈴や可愛いツルのオブジェなどがたくさんあります！

Photo by @o.sotoasobi さん (Instagram より)

美しい写真、ありがとうございました！



■ ■ ————— ■ ■  
編集後記（鹿児島県観光・文化スポーツ部国際交流課）

\*

今月の「かごしま南の風便り」はいかがでしたか？

これからも、この鹿児島県庁多言語メールマガジンは鹿児島と皆様をつなぐ情報の架け橋となるよう、編集者一同努力して参ります。

■ ■ ————— ■ ■  
「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

☆鹿児島暮らしの知恵

鹿児島の生活に関する情報をご共有ください（例：つけあげのおいしい食べ方、火山灰の対処法）。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▲▽▲▽

日本国 鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号：+81-99-286-2306

FAX 番号：+81-99-286-5522

↓電子メールアドレス

英 語：[cir1@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:cir1@pref.kagoshima.lg.jp)

韓国語：[cir3@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:cir3@pref.kagoshima.lg.jp)

日本語：[minami@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:minami@pref.kagoshima.lg.jp)

本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。